

人もまちも生き生きと 輝く都市を目指して

生命都市推進プロジェクト（地域特性を活用する取り組み）

生命都市の実現に向け、「地域特性の活用」を実践する「生命都市推進プロジェクト」を進めます。本市が魅力と活力のある都市として力強く成長するよう、市民や関係者・団体など、多くの人と連携しながら、先行的・重点的に取り組む5つのプロジェクトを紹介します。

I 生命都市DNA育成プロジェクト(市民力・地域力)



地域の課題を地域で解決

市民力・地域力を生かし、まちづくりの基盤を強化する施策を実施します。

- まちづくり活動の支援
- 行政の経営力強化など

II 元気まえばし健康輝きプロジェクト(健康・医療)



健康づくりを支援

恵まれた健康・医療環境を生かし、市民の健康的な暮らしを支える取り組みを幅広く進めます。

- 一人一人に応じた健康づくりの支援
- 地域福祉サービスの向上など

III 人と自然にやさしい前橋ライフ実践プロジェクト(自然環境)



自然を楽しむ

自然の恵みを生かし、自然を楽しみながら、環境に配慮する「前橋ライフ」への転換を図ります。

- 市民力によるエコライフ推進
- 自然体験事業の推進など

IV 生命力を育む食の循環プロジェクト(食・農)



学校給食をおいしく楽しむ

農業が持つ多くの可能性をさまざまな視点から生かし、「食」と「農」の魅力あふれるまちづくりに取り組みます。

- 食育事業の推進
- 「農」との触れ合いづくりなど

V 未来を紡ぐ「前橋」発信プロジェクト(歴史・文化)



中心市街地で映画撮影

前橋独自の歴史と文化を生かし、前橋の魅力発信と観光PRを進めます。

- 前橋文化の発掘と発信
- まちなか回遊性の向上など

4月から、本市では「第六次前橋市総合計画」に沿ったまちづくりが始まります。来年度から平成29年度までの10年間、この計画に基づいてさまざまな施策を行い、「生命都市いきいき前橋」を将来都市像として、元気で楽しい前橋を目指します。

問い合わせは政策課 ☎890-6512へ。

地域特性を最大限に活用

前橋の地域特性は、人が生き生きと暮らすためにかけがえのない大切な財産。「生命都市いきいき前橋」は、まちづくりの担い手である市民と地域の「力」を原動力にして、地域特性を最大限に活用するまちづくりを進めます。

まちづくりの力=市民力・地域力



ウォーキングバス



有価物集団回収

- 32万市民の力
- 企業や関係団体の力
- 市民活動組織の力
- 大学・研究機関の力など

地域特性1 恵まれた医療環境



- 医院・医師数の多さ
- 総合病院の集積
- 福祉サービスの充実

地域特性2 「水」と「緑」の自然環境



- 赤城山の豊富な資源
- 豊かな水系
- 緑あふれる都市空間

地域特性3 「食」と「農」の充実



- 全国有数の農業生産
- 赤城南ろくの畜産
- 「農」の多面性

地域特性4 情緒あふれる歴史と文化



- 萩原朔太郎^{うた}
- 生糸のまち
- 古墳・史跡・産業遺産

計画の概要や将来都市像、今後進める取り組みなどについて2回シリーズで紹介いたします。次回は、2月1日号でお知らせします。

生命都市推進プロジェクトの実現をテーマに、昨年の7月から10月までの4カ月間、生命都市推進ワークショップを開催しました。市民と職員が同じテーブルに着き、それぞれのテーマに分かれて、本市の課題や目標を共有。今後進むべき方向性や具体的な取り組みについて検討し、ワークショップでの提案を「生命都市推進プロジェクト」に反映することで、より実効性の高いプロジェクトづくりに努めました。



ワークショップで課題抽出

市民と取り組む

生命都市を目指す
本市がさらに魅力ある都市として発展していくためには、都市の個性を磨き、活力を高めていくことが必要。今ある地域特性を改めて見つめ直し、それらを十分に生かしながら、新しい前橋の個性を生み出していくまちづくりを進めます。「前橋らしさ」を伸ばし、都市の魅力と活力を高めることで、誰もが安全に安心して生き生きと暮らすことができる「生命都市いきいき前橋」の実現を目指します。

生命都市を目指す
市民のニーズを把握しながら、優先して取り組むべき施策を重点的に進める「選択と集中」の視点と、市民生活に対してどのような成果を挙げたかを重視する「成果志向」の新たな視点を持つて事業を展開します。また、事業の評価結果を市民の皆さんに公表。その結果に基づき改善を行いながら、より効果的で効率的な計画の推進を図ります。

新たな視点で
まちづくりの目標である将来都市像を掲げ、それを実現するための施策を明らかにするための計画。体系的・計画的に事業を進めていくための指針となるものです。

総合計画とは